

水利権とは

■河川法第二十三条(流れの占用の許可)

河川の流れを占用しようとする者は、国土交通省令で定めるところにより、河川管理者の許可を受けなければならない

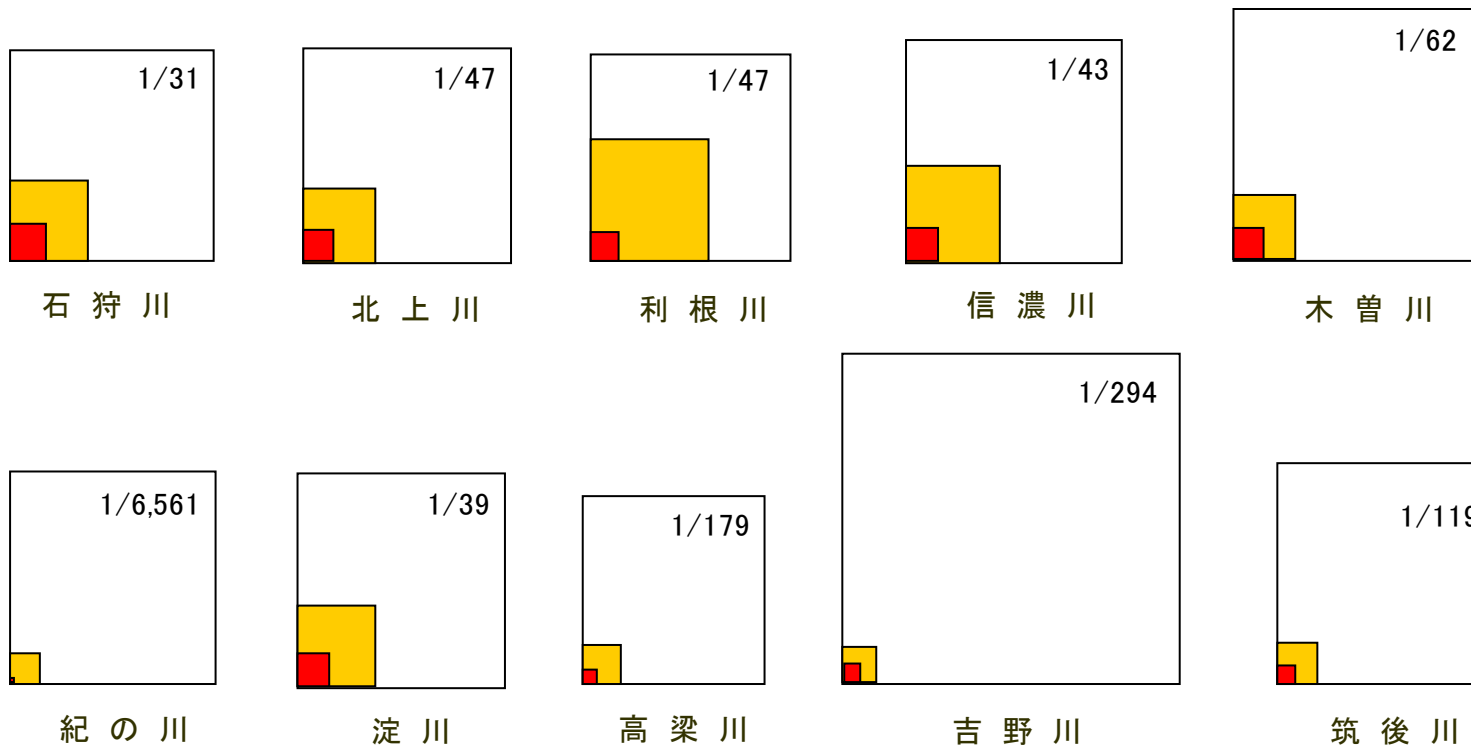
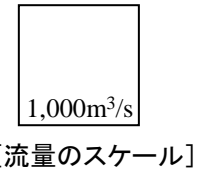


水利用の現状（１）

最大流量・最小流量および水の利用

紀の川は日本の大きな河川の中でも最大流量と最小流量の差が大きく流況の不安定な河川です。

□ 最大流量 ■ 水の利用量 ■ 最小流量



※枠内の数字は、最大流量と最小流量の比率（最小流量／最大流量）。

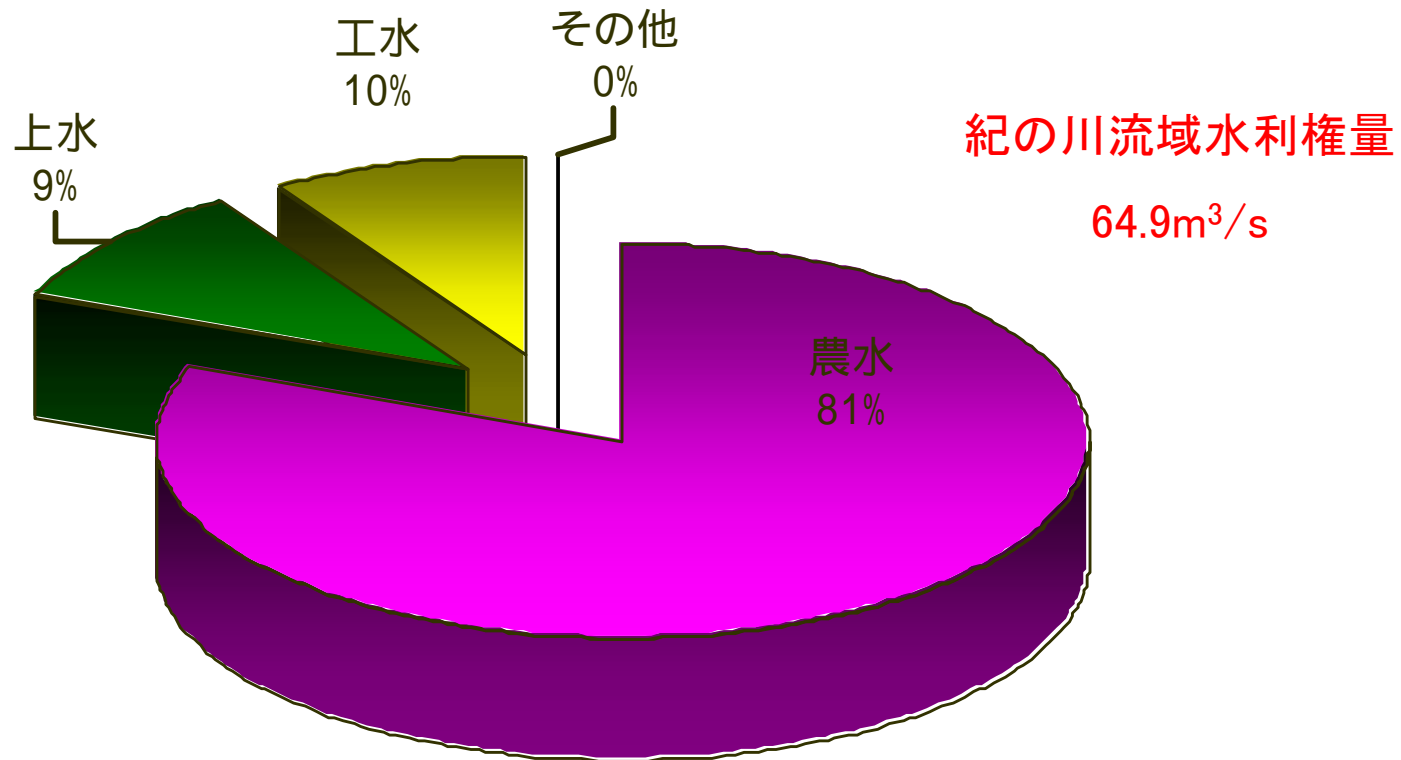
※水の利用は、許可水利権（慣行権は含まず）。

※資料：流量年表（H1～10、木曽川のみH1～8）及び「河川便覧2000」より作成。

水利用の現状（ 2 ）

用途別水利用の状況(暫定水利権含む)

農水の利用量が最も多く、全利用量の81%を占めています。次いで工水・上水となっており、その他の目的による水利用はほとんどありません。

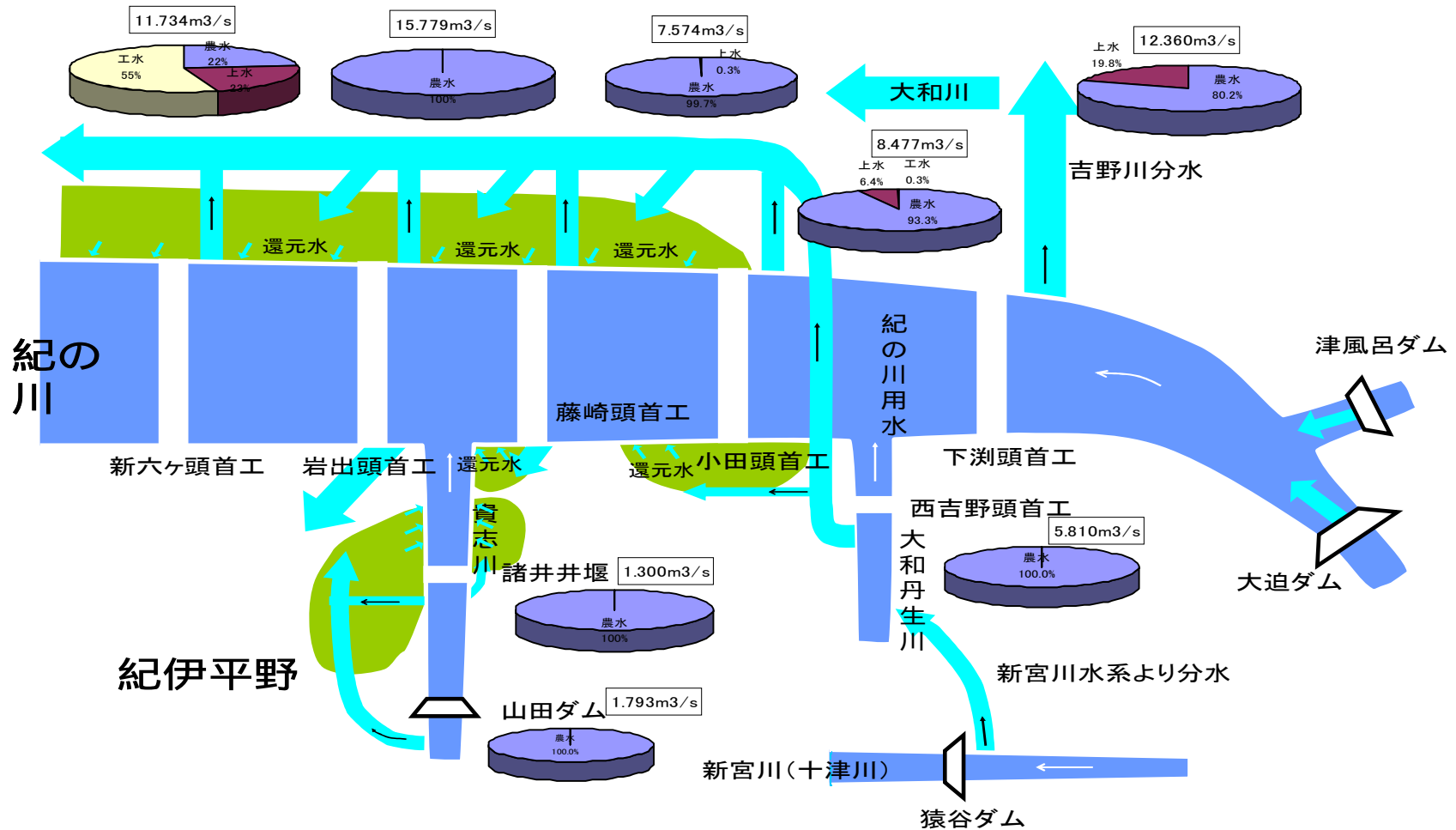


(出典:水利権調書 H11.3)

平成10年度時点での用途別水利用状況

水利用の現状 (3)

水道用水、工業用水の大部分が岩出から新六ヶ井堰の間に集中しています。

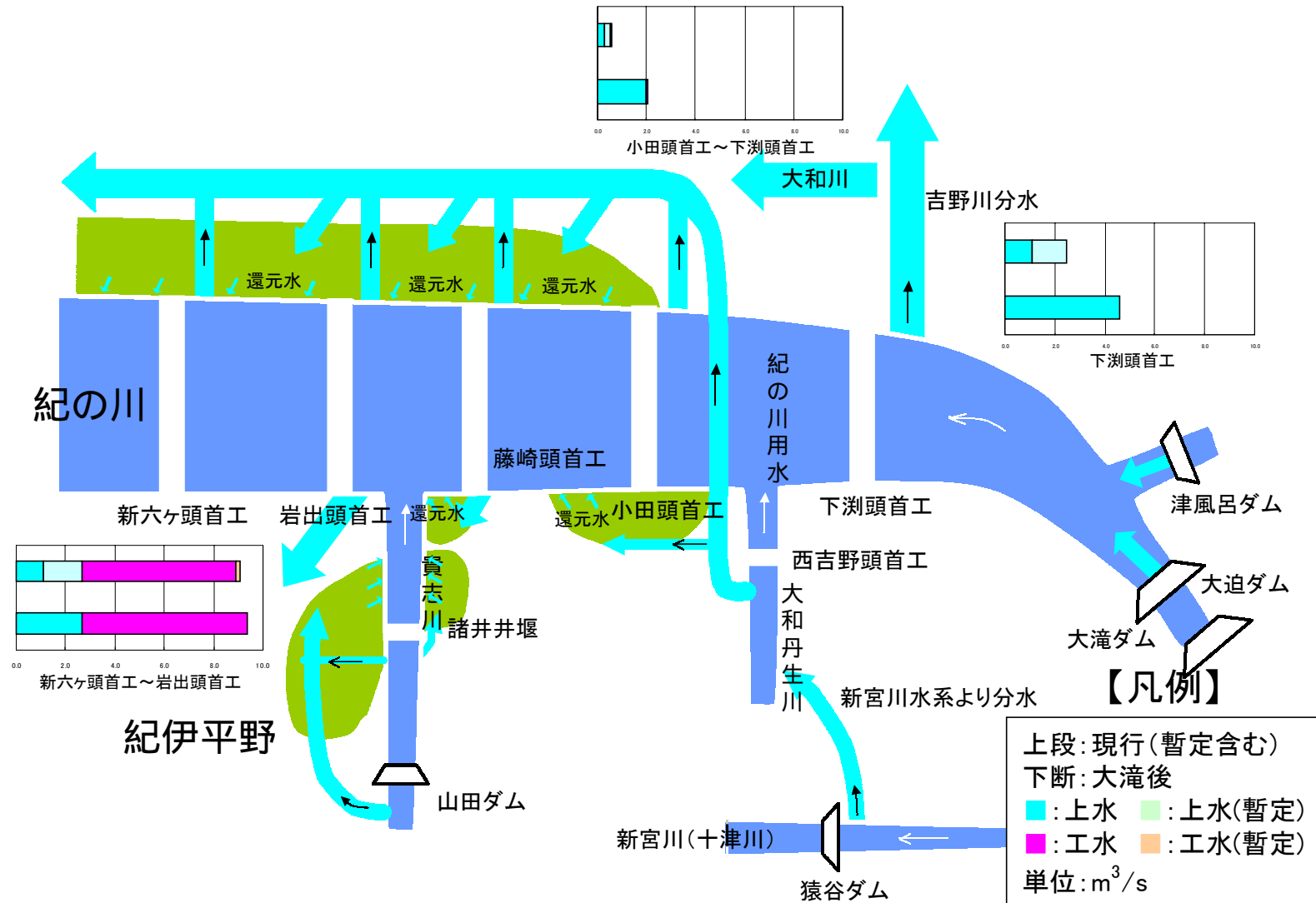


※かんがい期の水利権量(暫定含む)

水利調書(H11.3)

大滝ダム完成後の水利用の変化

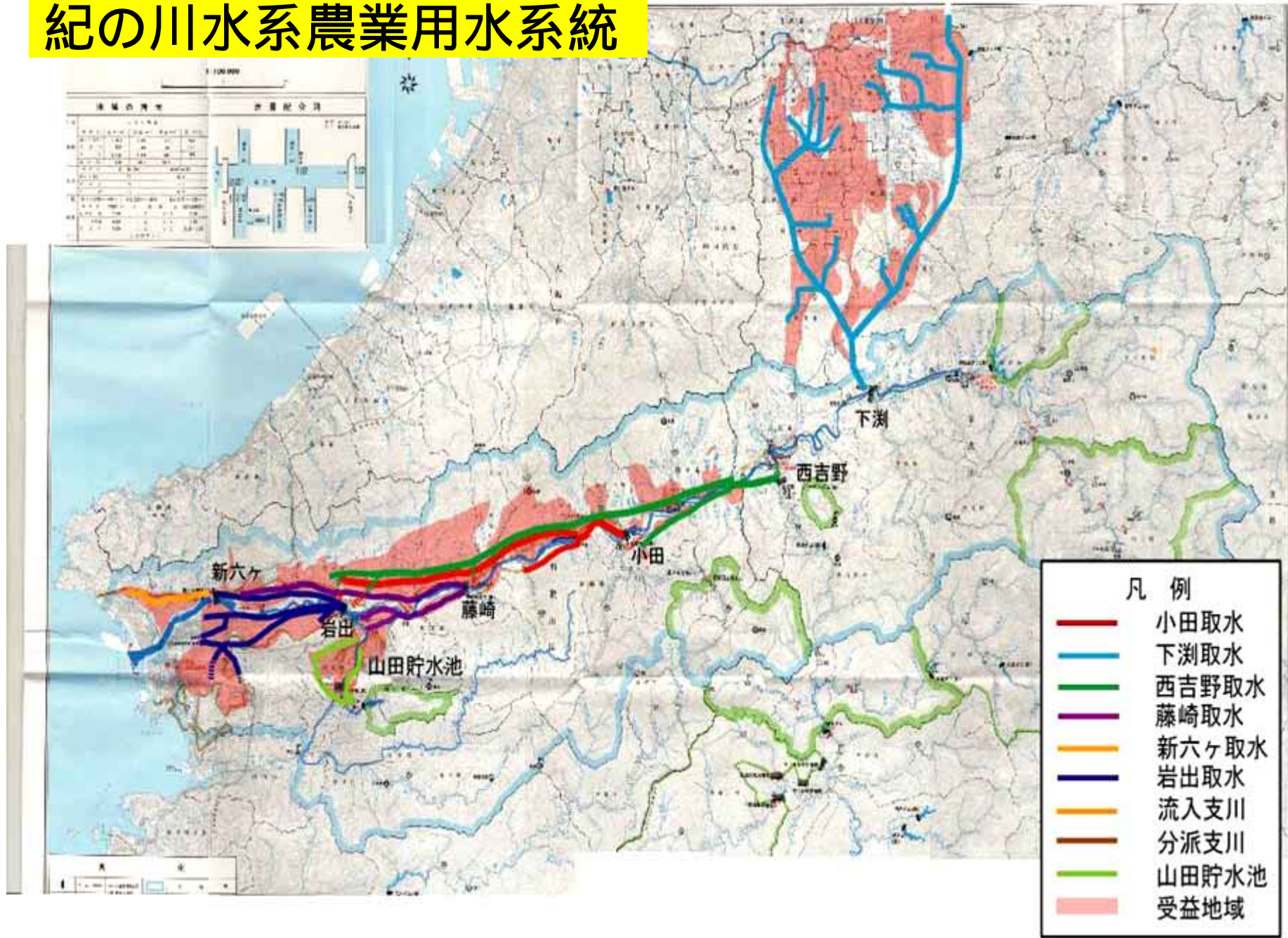
水道用水、工業用水の大部分が岩出から新六ヶ井堰の間に集中しています。



※かんがい期の水利権量(暫定含む)

水利調書(H11.3)

紀の川水系農業用水系統



紀の川下流農業用水水循環状況

